



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年8月11日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東  
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)向後 昌志 (TEL)04(7094)5581  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	348	141.5	△296	—	△311	—	△251	—
2021年3月期第1四半期	144	△84.9	△317	—	△341	—	△377	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	△28.09	—
2021年3月期第1四半期	△42.18	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	6,269	△721	△11.6	△148.60
2021年3月期	6,584	△466	△7.2	△120.02

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 △728百万円 2021年3月期 △473百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—				
2022年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

2022年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

#### ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	10,453,920株	2021年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,512,099株	2021年3月期	1,512,099株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	8,941,821株	2021年3月期1Q	8,939,821株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

#### 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大の影響により極めて厳しい状況を余儀なくされました。また、この新型コロナウイルス感染症の終息はまだまだ見えず、今後の経済活動・その他に及ぼす影響は極めて大きなものがあります。

リゾートホテル業界におきましては、この影響が直撃しております。

当社におきましても、2021年4月1日に政府より発令のまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言を受け、個人・団体需要の急減及びキャンセルが多発したことや、感染症拡大防止の観点から平日を中心に主力ホテルの一時休館をしたことから、売上高は対前年同四半期比では増加したものの伸び悩み、多額の損失を計上することとなりました。

その結果、当第1四半期会計期間の営業収益は348百万円と前年同四半期と比べ204百万円(141.5%)の増収となったものの、営業損失296百万円(前年同四半期は317百万円の損失)、経常損失311百万円(前年同四半期は341百万円の損失)、四半期純損失251百万円(前年同四半期は377百万円の損失)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しております。詳細については「2. 四半期財務諸表及び主な注記事項 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更) (収益認識に関する会計基準等の適用)」をご参照ください。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ315百万円減少し、6,269百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ255百万円減少し456百万円となりました。これは主に、現金及び預金が123百万円、売掛金が74百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ59百万円減少し、5,812百万円となりました。これは主に、建物が42百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ213百万円減少し、4,418百万円となりました。これは主に、未払消費税等が141百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ153百万円増加し、2,572百万円となりました。これは主に、長期借入金が175百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ255百万円減少し、△721百万円となりました。これは主に、四半期純損失251百万円の発生によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想数値は、新型コロナウイルス感染症の影響で先行きが不透明なことに加え、政府によるまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言の発出により、業績への影響を合理的に算出することが困難なため、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の公表が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	354,191	231,164
売掛金	123,386	48,620
棚卸資産	43,244	43,905
未収入金	68,480	29,882
その他	122,792	102,981
貸倒引当金	△139	△56
流動資産合計	711,956	456,497
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,961,906	10,968,889
減価償却累計額	△6,754,147	△6,803,504
建物(純額)	4,207,758	4,165,384
構築物	500,350	500,350
減価償却累計額	△462,872	△463,123
構築物(純額)	37,478	37,227
機械及び装置	238,120	238,120
減価償却累計額	△163,515	△165,249
機械及び装置(純額)	74,605	72,870
車両運搬具	8,874	8,874
減価償却累計額	△8,046	△8,096
車両運搬具(純額)	827	778
工具、器具及び備品	673,095	674,048
減価償却累計額	△592,972	△596,276
工具、器具及び備品(純額)	80,122	77,771
土地	1,029,636	1,029,636
リース資産	237,904	237,904
減価償却累計額	△140,641	△148,788
リース資産(純額)	97,263	89,116
建設仮勘定	1,053	1,053
有形固定資産合計	5,528,745	5,473,839
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	92,469	86,595
差入保証金	173,005	173,005
保険積立金	29,450	30,911
その他	26,115	25,838
貸倒引当金	△9,464	△9,464
投資その他の資産合計	311,576	306,886
固定資産合計	5,872,705	5,812,965
資産合計	6,584,662	6,269,462

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,311	22,416
短期借入金	3,589,185	3,622,177
1年内返済予定の長期借入金	405,008	391,183
未払金	63,328	53,813
未払費用	166,364	159,374
未払法人税等	8,066	3,871
未払消費税等	145,812	4,324
賞与引当金	29,979	15,624
災害損失引当金	3,229	—
その他	192,026	146,198
流動負債合計	4,632,312	4,418,983
固定負債		
長期借入金	1,500,000	1,675,000
繰延税金負債	7,010	5,177
退職給付引当金	138,747	141,123
役員退職慰労引当金	30,071	30,071
長期預り保証金	425,000	423,603
その他	317,945	297,464
固定負債合計	2,418,774	2,572,439
負債合計	7,051,086	6,991,423
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	499,177	499,177
利益剰余金	△1,610,395	△1,861,590
自己株式	△5,321	△5,321
株主資本合計	△489,778	△740,973
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,594	12,254
評価・換算差額等合計	16,594	12,254
新株予約権	6,759	6,759
純資産合計	△466,424	△721,960
負債純資産合計	6,584,662	6,269,462

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
営業収益	144,187	348,230
営業費用	461,773	645,210
営業損失(△)	△317,585	△296,979
営業外収益		
受取保険金	108	2,943
助成金収入	850	—
補助金収入	—	7,904
その他	3,132	3,992
営業外収益合計	4,090	14,840
営業外費用		
支払利息	27,358	28,887
その他	666	131
営業外費用合計	28,025	29,019
経常損失(△)	△341,520	△311,158
特別利益		
助成金収入	102,217	65,751
特別利益合計	102,217	65,751
特別損失		
固定資産除却損	855	3,679
臨時休業による損失	135,446	—
特別損失合計	136,301	3,679
税引前四半期純損失(△)	△375,604	△249,087
法人税、住民税及び事業税	2,108	2,108
法人税等調整額	△604	—
法人税等合計	1,503	2,108
四半期純損失(△)	△377,107	△251,195

### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響により、四半期純損失を計上したことにより、当第1四半期会計期間末において、利益剰余金が△1,861,590千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、テナント等における一部の収益について、従来は顧客から受け取る対価の総額で収益を認識していましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社の役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先等に支払う額を控除した純額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減して、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期累計期間の営業収益及び営業費用が2,608千円それぞれ減少しております。なお、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19号及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	57,617	79,075	136,692	7,495	144,187	—	144,187
セグメント損失(△)	△262,263	△28,489	△290,752	△11,614	△302,366	△15,218	△317,585

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△15,218千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
顧客との契約から生じる 収益	235,651	96,871	332,522	15,707	348,230	—	348,230
外部顧客への営業収益	235,651	96,871	332,522	15,707	348,230	—	348,230
セグメント損失(△)	△261,537	△13,476	△275,014	△5,965	△280,980	△15,999	△296,979

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△15,999千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の「ホテル関連」の営業収益は2,608千円減少、セグメント損失(△)は58千円減少し、「リゾート関連」のセグメント損失(△)は50千円増加し、「その他」のセグメント損失(△)は7千円増加しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。